

新生児におけるセレウス感染症について (報告事例と担当医へのヒアリング調査結果)

報告事例	1	2	3	4	5
	1995年12月	2001年6月	2001年10月	2003年6月	2003年10月
医療機関	慶応義塾大学医学部小児科	千葉市立海浜病院新生児科	千葉市立海浜病院新生児科	大津赤十字病院NICU	関西医科大学小児科
出生体重 (g)	3,764	660	947	564	3,500
性別	女児	男児	男児	男児	男児
在胎期間(週)	37	24	30	25	35
発症時日齢	4	4	2	1	0
転帰	6日齢 (死亡)	7日齢 (死亡)	54日齢 (死亡)	7日齢 (死亡)	97日齢 (退院)
症状	髄膜炎	肺炎・敗血症	全身性炎症反応症候群	敗血症・髄膜炎	敗血症
調製粉乳の使用	なし	なし	あり(日齢2日目に経管栄養を実施。ただし経腸栄養は確立出来ず。)	なし	あり(調製粉乳よりセレウスを検出するが、RAPD-PCR法により患者由来株と違うものであることを確認。)
検出状況	血液、髄液、脳組織	血液・気管吸引物・咽頭・便・左肺下葉	気管吸引物・咽頭・便	血液・髄液	血液
出典 (詳細は担当医に確認)	日本新生児学会雑誌 Vol.31(4)(1995)	日本新生児学会雑誌 Vol.37(2)(2001)	日本未熟児新生児学会雑誌 Vol.13(3)(2001)	日本新生児学会雑誌 Vol.39(2)P333(2003)	日本未熟児新生児学会雑誌 Vol.15(4)(2003)